

ヒトと動物の関係学会 第29回総会資料

総会議題

- 1号議案 2022年次事業報告
- 2号議案 2022年次決算報告
- 3号議案 監査報告
- 4号議案 2023年次事業計画（案）
- 5号議案 2023年次予算（案）
- 6号議案 その他

日時：2023年3月12日（日）午後12時30分より

場所：東洋大学白山キャンパス

< 1号議案 >

2022 年次事業報告

1) 2022 年 12 月 31 日現在の会員数

正会員 461 名 (内学生会員 41 名) 名誉会員 0 名

賛助会員 2 団体・法人会員 5 団体

2) 学術大会の開催

第 28 回学術大会 2022 年 3 月 12 日(土)・13 日(日)

大会実行委員長 山越言 (京都大学)

場所：慶應義塾大学 日吉キャンパス 来往舎 1 階 シンポジウムスペース

および ZOOM によるオンライン同時中継

総参加人数：228 名 (会員：80 名 非会員：144 名 法人：4 法人 (対面：67 名 オンライン：161 名))

3 月 12 日(土)

① シンポジウム

「動物園の生息環境展示と動物福祉について」

コーディネーター：若生謙二 (大阪芸術大学)

パネリスト：

若生謙二 (大阪芸術大学) 「開催趣旨：動物園の生息環境展示と動物福祉について」

本田直也 (円山動物園 爬虫類担当) 「飼育技術者が要する視点の考察」

佐藤哲也 (神戸どうぶつ王国) 「野生に誘う魅せる展示を目指して」

中村 元 (水族館プロデューサー) 「命を展示する覚悟が展示効果を最大限にする」

コメンテーター：

渡部浩文 (多摩動物公園)

森 由民 (動物園ライター)

3 月 13 日(日)

② シンポジウム

「犬と猫と人が幸せに暮らせる社会を目指して～動物愛護センターの取り組みと課題～」

コーディネーター：谷田 創 (広島大学)

パネリスト：

谷田 創 (広島大学)

「開催趣旨：犬と猫と人が幸せに暮らせる社会を目指して～動物愛護センターの取り組みと課題～」

大月 翼 (うだ・アニマルパーク振興室 動物愛護管理係)

森井祐幸 (うだ・アニマルパーク振興室 動物愛護管理係)

「奈良県うだ・アニマルパーク振興室における「いのちの教育プログラム」の実施と評価について」

中村 満 (広島県動物愛護センター)

「広島県動物愛護センターの取り組みと課題」

高島一昭（公益財団法人動物臨床医学研究所）

「動物福祉を基軸に置いたアミティエの運用」

河野 誠（京都市保健福祉局医療衛生推進室医療衛生企画課動物愛護担当）

「人と猫が共生するまちを目指して～京都市まちねこ活動支援事業の10年間～」

③ 学術大会口頭発表 11 題（両日）

奨励賞 1 名：坂本 穂（広島大学大学院統合生命科学研究科）

「広島県呉市安浦町沖の無人島におけるニホンジカ (*Cervus Nippon*) の行動調査」

3) 研究会の開催

第 131 回例会

2022 年動物観研究会公開ゼミナール

「特別テーマ「精神領域から探る動物福祉、いかにして可能となるか」」

2022 年 12 月 4 日（日）

場所：東京農工大学農学部 2 号館 11 番教室

参加人数：50 名

① 一般発表

小川博久・花園 誠（帝京科学大学）

「ウニ発生過程の観察と動物観形成～「マイウニ」と児童・生徒の動物観～」

奥山友太・佐渡友陽一（帝京科学大学）

「現代日本の昆虫文化 ～カブトムシ・クワガタ飼育の広がり経緯と背景～」

松本紗佳（大阪芸術大学大学院）

「体の特徴を捉えれば触知覚のみで猫の表現は可能か」

小西夢香（大阪芸術大学）

「猫と芸術家の関係性について」

森 由民（動物園ライター）

「季節と衰滅 嘉村礒多小論～古井由吉・吉本隆明の視角から」

大林駿斗（動物観研究所）、佐渡友陽一（帝京科学大学）、石田戠（動物観研究所）

「2021 年、動物観調査の結果について（速報）」

加藤恵理・綿引周（東洋学園大学）

「欧米からアジアに広がるアニマルウェルフェア：グローバルフードパートナーズの取り組み」

② 特別テーマ「精神領域から探る動物福祉—いかにして可能となるか」

コーディネーター：

若生謙二（大阪芸術大学）

パネリスト：

波多野幾也（NPO 法人日本放鷹協会）

「アニマルウェルフェア 第五の領域を総合科学（Nexialism）的に観る」

本田直也（札幌市立大学）

「動物福祉における形式知と暗黙知 動物の感情を代弁するのは誰なのか？」
島田将喜（帝京科学大学）
「動物福祉と遊び」
石田 戢（動物観研究所）
総合討論「精神領域から探る動物福祉—いかにして可能となるか」

第132回例会

HARs 地域シンポジウム 「災害時におけるペットとの同行避難を考える」

2022年12月10日（土）

場所：対面およびオンラインミーティング（Zoom）

参加人数：198名

コーディネーター：谷田 創（広島大学大学院統合生命科学研究科）

パネリスト：

木場有紀（帝京科学大学）

「ペットとの同行避難に関する全国の自治体の取り組み状況」

本村光江（大阪経済大学）

「ペットとの同行避難に関する関西三都市の避難所の対応」

村尾信義（倉敷芸術科学大学）

「夏季の同行避難所を想定した環境下での犬のストレスの行動生理学的評価」

津森正裕（瀬戸内コンサルティング株式会社 代表取締役）

「防災対策についての10箇条」

小倉政光（イオンペット株式会社 取締役）

「ペットとの同行避難には何が必要か」

田口本光（環境省 自然環境局総務課動物愛護管理室）

「ペットとの同行避難に関する環境省の取り組み」

4) 会議の開催

常任理事会 2022年7月3日（於 慶應義塾大学）、11月12日（於 東洋大学）

理事会 2022年3月13日

評議員会 2022年3月13日

編集委員会 随時メール審議

学術委員会 随時メール審議

5) 学会誌の発行

第61号発刊 2月 550部

第62号発刊 8月 550部

第63号発刊 12月 550部

動物観研究 27号 12月 700部

<2号議案> 2022年次 決算報告

2022年次 決算報告

1. 会計報告

2022年12月31日現在

I、収入の部

(単位:円)

科目	2022年次決算	2022年次予算	予算比*	備考
一般・学生会費	2,263,000	2,610,000	87%	のべ一般329名、学生22名(退会者を含む)
賛助・法人会費	270,000	200,000	135%	賛助2、法人5
大会参加費	308,000	450,000	68%	大会参加費(2023年28回大会参加費一部込)
出版物売上	71,815	100,000	72%	雑誌会員・学会誌売上
別刷費	0	0	0%	
雑収入	0	0	0%	寄付金等
預貯金利息	0	0	0%	
本年度収入合計	2,912,815	3,360,000	87%	
前年次繰越額	1,204,515	1,204,515	100%	
収入の部合計	4,117,330	4,564,515	90%	本年度収入合計+前年次繰越額

II、支出の部

科目	2022年次決算	2022年次予算	予算比	備考
学会誌制作・印刷・封入発送作業費	1,231,629	1,400,000	88%	学会誌60・61・62および動物観研究No.26
小計	1,231,629	1,400,000	88%	
大会費	586,293	400,000	147%	Zoom契約料、奨励賞賞品、パネリスト謝金、アルバイト謝金
地域シンポジウム・例会費	0	300,000	0%	地域シンポZoom契約料、謝金等
IAHAIO年会費	72,300	0	-	IAHAIO年会費
小計	658,593	700,000	94%	
通信費	79,300	80,000	99%	HP管理費、サーバー利用料
郵送費	51,619	50,000	103%	学会誌等郵送
小計	130,919	130,000	101%	
人件費	480,000	600,000	80%	事務局人件費・事務局代行費
旅費交通費	228,130	250,000	91%	理事会交通費
事務費	22,101	50,000	44%	事務用品、梱包資材
雑費	4,455	50,000	9%	振込手数料等
小計	734,686	950,000	77%	
支出の部合計	2,755,827	3,180,000	87%	
次年次繰越額	1,361,503	1,384,515	98%	
支出の部合計	4,117,330	4,564,515	90%	

* 予算に対する決算額(%)

2. 会計納入状況

個人会員年会費納付状況(2022年12月31日現在) ※退会者は含まない

年次	会員数	納付者数	納付率
2020年次分会費	446	402	90.1%
2021年次分会費	467	375	80.3%
2022年次分会費	461	321	69.6%

過去3年間の個人会員年会費納付状況(2021年12月31日現在)

年次	納付口数	納付金額
2020年納付	590	3,441,000
2021年納付	383	2,243,000
2022年納付	351	2,263,000

賛助・法人会員会費納入状況(2021年12月31日現在)

年次	会員数	納付件数	納付率
2020年次 賛助会員	4	2	50.0%
法人会員	4	4	100%
2021年次 賛助会員	2	2	50.0%
法人会員	4	4	75%
2022年次 賛助会員	2	2	100.0%
法人会員	5	5	100.0%

<3号議案> 監査報告

2022年1月1日から12月31日までの2022年次における会計および業務の監査を行い、内容について適正であると認めたのでこれを報告する。

2023年3月11日

監事

天野 卓



若生 謙二



< 4号議案 >

2023 年次事業計画（案）

1) 学術大会の開催

第 29 回学術大会

2023 年 3 月 11 日（土）・12 日（日）

場所：東洋大学白山キャンパス

対面とオンラインミーティング（Zoom）によるハイブリッド開催

① シンポジウム

「どこまでが動物なのか—人文学から考える」

コーディネーター：伊東 剛史（東京外国語大学）

パネリスト：

伊東 剛史（東京外国語大学）

「引き裂き、引き裂かれるダーウィン—動物生体解剖と植物の神経—」

岩崎陽一（名古屋大学）

「無言のオウム、饒舌な蛇—動物たちが喋り出す古代インドの物語世界—」

池野絢子（青山学院大学）

「変身の系譜—現代芸術にみる人間と動物のあいだ—」

高橋英之（大阪大学）

「人に優しいロボットのデザイン—関係性から創発する being エージェント—」

ディスカッサント： 築地夏海（東京外国語大学大学院前期博士課程）

永野杏奈（東京外国語大学大学院前期博士課程）

コメンテーター： 南谷奉良（京都大学）

② シンポジウム

「日本の動物介在教育の黎明・現在・未来～「いのちのぬくもりと大切さ」を伝えるために」

コーディネーター：花園 誠（帝京科学大学）

パネリスト：

鈴木哲也（東京未来大学）

「戦前の学校飼育動物の歴史」

鳩貝太郎（東京都立大学）

「学校飼育動物の現状」

吉田太郎（東洋英和女学院小学部）

「「限りあるいのちと向き合った子どもたち」～動物介在教育はいのちを教えることができるのか？～動物介在教育 20 年間の取り組みからの報告」

藤井敬子（奈良県・うだアニマルパーク）

「奈良県「いのちの教育」～動物からの学びが汎用性のある教育プログラムへ～」

③ 学術大会口頭発表 16 題 ポスター発表 3 題

2) 研究会の開催

地域シンポジウム

例会 3回

3) 会議の開催

常任理事会 2023年3月11日、6月、10月

理事会 2023年3月12日

評議員会 2023年3月12日

編集委員会 数回

学術委員会 数回

4) 学会誌の発行

第64号発刊 2月 550部

第65号発刊 7月 550部

第66号発刊 12月 550部

動物観研究28号 12月 700部

< 5号議案 >

2023年次予算(案)

2023年次 予算(案)

2022年12月31日現在
(単位:円)

I、収入の部

科目	2023年次予算	2022年次決算	決算比*	備考
一般・学生会費	2,643,000	2,263,000	117%	一般420名、学生41名
賛助・法人会費	250,000	270,000	93%	賛助3、法人5
大会参加費	310,000	308,000	101%	大会参加費
出版物売上	70,000	71,815	97%	学会誌販売
別刷費	0	0	-	
雑収入	0	0	-	
預貯金利子	0	0	-	
当期収入合計	3,273,000	2,912,815	112%	
前期繰越額	1,361,503	1,204,515	113%	年度末資産残高から
収入の部合計	4,634,503	4,117,330	113%	(当期収入合計+前期繰越額)

II、支出の部

科目	2023年次予算	2022年次決算	決算比	備考
学会誌制作・印刷・封入発送作業費	1,400,000	1,231,629	114%	学会誌63・64・65号及び動物観研究Vol.27
小計	1,400,000	1,231,629	114%	
大会費	500,000	586,293	85%	講演料・会場費・アルバイト代・備品等
地域シンポジウム・月例会費	225,000	0	-	講演料・会場費・交通費
IAHAIO年会費	75,000	72,300	104%	IAHAIO年会費
小計	800,000	658,593	121%	
通信費	80,000	79,300	101%	HP管理費、サーバー利用料
郵送費	60,000	51,619	116%	学会誌郵送(宅急便も含む)
小計	140,000	130,919	107%	
人件費	600,000	480,000	125%	事務局人件費
旅費交通費	250,000	228,130	110%	理事会交通費
事務費	50,000	22,101	226%	事務用品、コピー代を含む
雑費	50,000	4,455	1122%	振込手数料等
小計	950,000	734,686	129%	
当期支出合計	3,290,000	2,755,827	119%	
次期繰越額	1,344,503	1,361,503	99%	
支出の部合計	4,634,503	4,117,330	113%	

* 決算に対する予算額(%)

< 6号議案 >

その他